

# Rotary club Rotary

## YACHIYO 週報

第2459回  
2017年12月21日



八千代ロータリークラブ  
CLUB NO.15070



ロータリー：  
変化をもたらす

2017-18年度 国際ロータリーテーマ  
Rotary : Making A Difference  
地区活動方針 「理念と実践 ～ Think Next ～」

2017-18年度 クラブテーマ  
「ロータリー 頑張らないで リラックス」

### The Four-Way Test

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

### 今回例会行事

テーマ：クリスマス家族会

卓話者：

担当：親睦活動委員会・SAA

1月12日 2460回 例会行事

テーマ：新年会

卓話者：

担当：親睦活動委員会・SAA

## ◆◆◆◆ 2458回例会 ◆◆◆◆

2017/12/15

司会 渡邊 敏美

「手に手つないで」「たき火」 斉唱

## ◆◆◆◆◆ 会長挨拶 ◆◆◆◆◆

会長 橋本 幹雄



本日は、実質的に本年最後の例会になります。来週はクリスマス家族会ですが、今年は金曜日ではなく木曜日に変えさせて頂きました。翌日が土曜日でないので子供たちの参加が難しいとのご批判もありましたが、お蔭様で昨年と同様の参加者数となりましたので内心ほっとしております。また、開催するホテルも変えさせて頂きました。時には、少し違った角度でもものを見るのも変化をさせるためには必要なことと思っております。橋本・三井体制の半年間が無事遂行できましたのも、また、常に高い出席率を保持できましたのも、会員の皆様のご協力の賜物とあらためてここに御礼申し上げます。誠に有難うございました。

まず、3つのご報告をさせて頂きます。

- ・12月の初めに飯田充明会員の奥様のお母様が89才でお亡くなりになりました。クラブの慶弔規定に基づきまして会としての香典を届けて参りました。その際、飯田会員より、義母も高齢でもありましたので葬儀は家族葬で執り行い、クラブの方たちには誰にも連絡をしませんでしたとの事です。従いまして、会員の方からの香典などはご無用との事で、皆様にはよろしくお伝え下さいとの事でした。年内は例会を休ませて頂くとの申し出がありました。

- ・12月10日(日)に八千代市の第20回ニューリバーロードレースが開催されました。当クラブも社会奉仕委員会永田委員長のご尽力により、早朝6時30分に22名の会員に参加して頂き、昨年に続いてレース参加者にみかんを配布致しました。また、第20回レースの記念事業として当クラブが協賛金を供出した「八千代ロータリークラブ」の名入れのポール2本をスタート地点に新設することが出来ました。これらの協力に対して、本日ロードレース実行委員会より、ヤッチが編み込まれた靴下が御礼として届いておりますのでお受け取り下さい。

- ・現在、理事会に於きまして新入会員の承認を得た入会予定者が4名おりますが、来年の1月12日の第1例会に元会員の池田さんの甥っ子さんであります、池田建さんの入会式を行います。当日は新年会を兼ねておりますので、沢山の出席をお願い申し上げます。ほかの入会予定者の方もなるべく早めに、順次入会式を行っていく予定であります。

本日は「ルーティン」についてお話を致します。「ルーティン」とは、「2人以上のメンバーと連携して、観察可能な日々の反復性のある行為のこと」と定義されております。簡単に云うならば、「おはようー」と云えば『おはよー』と答える。「行ってきます」と云えば『行ってらっしゃい』と答える。「ただ今」と云えば『お帰りなさい』と答える。と云うように『日常の当り前』のことであります。

大体において、人間は生物学的にみて、周期性や規則性のある行動を好む傾向があるようです。ですから、この「ルーティン」は人間の生きる活力において大きな基盤となります。そこにいるみんな、同じ行動「ルーティン」を共有することにより、私も貴方も同じグループのメンバーであるという安心感が生まれ、「自分はこのグループの一員である」と云う帰属意識が自然と生まれてくるものなのです。ですから、この「ルーティン」の繰り返しがいつの間にかお互いの心の距離感を縮めて、ひとりひとりの信頼感を高めていくことになるのです。

我がクラブをしてみるならば、開会の点鐘、ロータリーソングや童謡の斉唱、会長挨拶、幹事報告、委員会報告、卓話、閉会の点鐘と一定の規則性に基づいて会が運営されております。毎回、童謡を歌うことによって、声を出すことによって、みんなの気持ちが和(なご)み、会員同士の親近感が生まれ、安心感が育まれ、

みんなの気持ちが一つになっているのです。

「ルーティン」の繰り返しがしっかり出来ていると云うことは、会としての組織の枠や型（かた）がしっかり構築されていると云うことです。何も難しいことをやると云うのではなく、ごく当たり前のことを確実に繰り返して行くと云うことに尽きるのです。そして、何よりも大切なことは、この「ルーティン」の反復継続を[FACE TO FACE]（フェイス トゥーフェイス）直接、面と向かって行うことなのです。人間は直に逢ってお互いの息遣いを感じてこそ、肌にしっとりくるものなのです。どこの誰かも分からぬ100回 1,000回の「いいね」よりもちゃんと顔の見える距離感こそ大切にしたいものです。

「山は山を必要としないが、人は人を必要とする」（スペインのことわざ）

※人と人のつながり方や距離感は、時代が変われば形を変える。どんな形にせよ、人は社会の中で他者とかかわり合いながら生きて行くしかない。そこが山とは違うのである。

## ◆◆◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆◆◆

幹事 三井 啓久



- ・地区大会のご案内を回覧しますので、懇親会への参加につきご記入をお願い致します。
- ・R L I、Part1への参加案内が来ております。参加希望の方は幹事までお声掛け下さい。
- ・11分区ゴルフ大会が2018年5月16日（水）に決定しました。上代会員のご協力により、本千葉カントリークラブでの開催となります。

- ・米山、財団への寄付についてご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。
- ・地区から、二輪車同好会 初詣ツーリングのご案内が来ております。参加希望の方は幹事までお声掛け下さい。
- ・茂原中央RC創立25周年記念式典のご案内が来ております。参加希望の方は幹事までお声掛け下さい。

## ◆◆◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆◆◆

ホストファミリー支援金贈呈

飯田 明彦会員

社会奉仕委員会 委員長 永田 勝久  
ニューリバーロードレースへのご協力、ありがとうございました。スタート地点のポールは大変評判が良かったとの事でした。

青少年奉仕委員会 委員長 中村 賢治

R Y L Aセミナーの案内が来ておりますので参加希望等ある方はお声掛け下さい。（1/19締切）

日時：2018年2月17～18日

場所：リソル生命の森（長生郡）

上代 修二会員

7クラブ親善ゴルフ大会には17名のご参加を頂きありがとうございました。第一回から20年となりました。八千代ライオンズの長谷川さん、八千代RCの小泉さんのお二人が始めた会であります。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

## ◆◆◆◆◆ お祝い ◆◆◆◆◆

本人誕生日：橋本 幹雄会員 齋藤 敏夫会員  
谷田貝 彰会員

夫人誕生日：中島 久恵様（中島 貞好会員）

出席委員会 委員 浅野 正幸

本日の出席率：出席対象者 48名 出席者 44名

出席率 91.7%

## ◆◆◆◆◆ 例 会 行 事 ◆◆◆◆◆

出席委員会 委員長 江口 茂勇

本日は、この様な機会を与えて頂きありがとうございます。人前で話す事はなかなかありませんので光栄に思っております。

テーマ：八千代市に生まれ育ち57年

卓話者：江口 茂勇会員



私は国土舘大学経済学部を卒業後、ずっと食品に係る仕事に従事して参りました。主に小売業ですが、年を追って説明致します。

昭和58年、卒業と共に日魯漁業という会社に入社しました。この会社は当時大変素晴らしい会社で、北海道に研修に行きました。当時小樽港というのは海外からの船が入港していましたので、入社4か月目で担当した仕事は小樽港から1海里ほどの海上で海外から来た船の上で食品を買い付けていました。印象に残っているのは、海外から来ている船にお酒と自転車と日本のお菓子を持っていきますと、とても喜ばれた事です。汗水たらして働いている人々の事を思い出します。

今、水産関係のスーパーでの値段を見ますと、とても高額です。さば、あじ、いわしなどは、皆さんが子供の頃は「ねこまたぎ」と言われていたと思います。それなのに今、さばが1尾500円もするというのは自分の中での感覚では有りえない価格です。ブランドさば、などと言われて、さばも随分偉くなったものだと思います。

日魯漁業に入社後、本格的に活動し始めた頃、「三越岡田事件」「200海里問題」などが起こり、捕鯨が出来なくなりました。日魯漁業は、さけます、缶詰関係

と一部捕鯨がりましたが、遠洋漁業がだめになったので、私は内勤に戻され、日本のデパートを担当する様になりました。伊勢丹を2年担当し新宿、松戸、静岡の伊勢丹で水産の仲介を担当しておりました。その後東急百貨店を2年担当しました。その頃と今の水産関係の食卓の事情を考えますと、家庭の奥様方が魚を調理しなくなりました。悲しい位、家で魚ひとつ焼かなくなってしまうました。まな板、包丁の無い家庭が増え、はさみとレンジだけで晩御飯を作ってしまう家庭が沢山あるのです。いくらなんでも情けないと思っておりますが、現実にはそういう家庭が増えているのです。売る方はそういう社会になってくれば、そういうものに対応して、小さくカットして販売する事になり、捨てる部分がとても増えてしまいます。

伊勢丹、東急でお世話になった後、昭和59年、4～5店舗あった自分のスーパーに戻るわけですが、共通する事は魚や肉の売り場がどんどん狭くなって、惣菜売り場が広がった事です。そしてお弁当屋さんやドライブスルー形式の店舗が増えてきました。惣菜コーナーを充実させる為には、設備投資も必要です。昔、魚屋は包丁とまな板があればよかったです。ところが今は、切って売るだけではなく、「煮る」「焼く」「揚げる」といった負担が大変多くなってきました。稲毛にあった店の西側にイトーヨーカ堂が出店し、東側にはジャスコが出店しました。それに伴い、500万円ほどあった売上が200万円になってしまい、当然赤字です。閉店を余儀なくされました。その頃よく思った事です、イトーヨーカ堂でもジャスコでも一晩たてば全てごみになり、山ほどある食べられる物を捨てなければならぬ。そしてまた新しいものを作る。この事がつらくてたまりませんでした。

平成15年には小売り関係をやめ不動産管理、倉庫関係、流通関係を行う様になり、それによりライフスタイルがものすごく変わりました。早朝から仕入れに行ったり、配達に行く事も良くありましたがそういった事が無くなりました。それに今は配達というのは無くなり宅配便を利用する様になって来ているようです。

日本で100%賄えるのは米だけではないでしょうか。例えば、油、コーン油、大豆等、輸入に頼っている訳です。日本のスーパーで売っているものには横文字が非常に多くなりました。冷凍食品などは現地で作ってから輸入しています。チェルノブイリでの放射能云々

で食料品の輸入が止まった事がありました。その時、日本のスーパーの棚から3割の物が無くなったのです。相手国の事情で、輸入が出来なくなった時、日本人は握り飯だけ食べていればいいのか？と危惧しました。日本の農地は余っていますが、農地法という法律が個人や企業の農業への参入を邪魔している実態があります。これを改善して、強い農業になってほしいと思っています。早くそうなってほしいです。

日本の農業技術は世界一だと思います。どこへ行っても日本ほどいいものは作れません。味も形も我が国にかなう農業技術をもっている国は恐らくないと思います。漁業についても同様です。特に、千葉県民として誇りに思っているのは千葉県の水産試験場で、このカレイ、ヒラメ、アワビ、サザエの養殖技術は大変素晴らしいものです。是非この辺りの技術を伸ばして、農業や漁業に従事する方が増えるといいと思います。天候や、時々、の事情で左右される事も多くありますが、極力安定してくれればいいと願っています。

近年の温暖化により千葉県でもかんきつ類が収穫できる様になってきました。昭和56年と現在の平均気温を比べると、1.2度ほど上がっています。そのため、新高という大きな梨がありますが、昔北総地帯では適品でしたが、今では栃木の日光あたりに行かないとできなくなってきています。反面、オレンジ関係が良くなってきています。皆さんご存知の「デコボン」は、長崎県南高来郡口之津町（現・南島原市）にある農林水産省果樹試験場で誕生しましたが、このデコボンが八千代でも生産できるようになりました。その位の気候の変化があったということになります。

愛媛の農林試験場では美味しいものが沢山できています。まだ製品化されていないので出回ってはいませんが、そういった日本生まれのフルーツが食卓を賑わす日が来るとして楽しみにしているところで、自分でも作ってみたいと思っています。

ちなみに今、私はキウイフルーツを育てています。美味しそうだなと思ったものは何でも作ってみたいなくなってしまいます。あと2~3年したら皆さんにご披露したいと思っています。

大学を卒業する時に「高齢化社会への対応」という論文を書きました。

高齢化と第一次産業という事で、特に農業問題について考えていました。その時には平成20年には所得のうちの2割位は税金を取られるようになるであろうと

言われていました。

中国人は日本の高齢化についてもものすごく注目しています。父の秘書をされていた方何人かと老人ホームに携わっていますが、そこには意外と中国や台湾の方が見学に來ています。というのも日本は今世界一高齢化率が高く、急激に高齢化が進みました。北欧はゆるやかに上昇しましたし、人員のバランスがいいので現状の施設、現状のシステムでなんとか乗り切れる状態です。ところが日本では1960年生まれの人が60歳になった時、日本の人口がピークだと言われていたのが平均寿命が延びた為、1960年生まれの人が65歳になった時がどうやら日本の人口がピークになる様です。そうすると先が見えていますので、老人ホームを沢山作っても、先々余っていくのではないかと思います。その余った施設を中国の方が購入しようと考えているのではないかと話を聞きました。

日本の人口は先細りでどんどん減り、住宅や施設が余ってきています。ましては限界集落で村がなくなっていっています。限界集落で亡くなる村の方の相続を不動産の仕事でやらせて頂いた事がありますが、村の中を歩くと、70世帯ほどあるうちの35世帯は空き家。人の姿は殆どみる事ができません。しかしそんな所でもインフラが整っているので中国や北朝鮮の奥地に比べれば条件のいい所となるのです。日本は日本人だけではやっていけない気がしましたが、商売繁盛で活気のある日本になってほしいと思っています。



◆◆◆◆ ニコニコBOX (¥27,000) ◆◆◆◆

齋藤 敏夫：68歳になります。お祝いありがとうございます。  
 います。  
 風間 茂：第62回こども県展で孫の蓮が特別賞の県教育長賞を受賞しました。  
 谷田貝 彰：久しぶりに参加させていただきます。すみません！  
 杉山 智基：「伝えさくら祭り」まだ間に合います。杉山まで宜しくお願いします。  
 上代 修二：早退  
 永田 勝久：江口会員卓話楽しみです。  
 安江 啓：クリスマス家族会欠席します。今年は家族で参加したかったのですが残念です。江口さん卓話楽しみにしています。  
 江口 茂勇：お世話になります。  
 杉 晟：江口さん。卓話楽しみにしております。  
 中島 真好：江口会員卓話よろしくお祈いします。  
 福田 良博：江口会員 卓話 楽しみにしています。  
 君塚 欣哉：江口さん卓話宜しくお祈い致します。  
 飯田 明彦：江口会員 頑張ってください。楽しみにしています。  
 佐久間勇治：江口会員卓話楽しみにしております。  
 浅野 正敏：江口さんの卓話は楽しみに待っております。ガンバッテ！  
 松戸 英雄：江口さん卓話楽しみにしています。  
 江頭 泰利：江口さん卓話楽しみにしています。  
 及川 昭男：江口さん卓話楽しみにしています。

◆◆◆◆ 友愛BOX (¥30,000) ◆◆◆◆

橋本 幹雄：とうとう67才になります。あと3年かな？いや1年かも！  
 中島 真好：妻よりキレイなお花ありがとうございます。  
 中村 賢治：江口さん卓話楽しみにしています。  
 栗原 稔：江口様卓話楽しみにしております。  
 谷田貝 彰：誕生日のお祝いありがとうございます。  
 田村 隆治：7クラブゴルフ、106回で準優勝になりました。  
 大中 宏道：江口会員 卓話よろしくお祈いします。  
 宮野 宗雄：江口さん卓話楽しみにしております。  
 安宅 照男：江口会員卓話宜しくお祈いします。  
 山崎 克巳：江口さん卓話たのしみにしています。  
 石渡誠太郎：江口会員卓話楽しみにしています。  
 遠藤 章雄：江口さんお祈いします。  
 寺沢 一三：江口さん卓話たのしみにしています。  
 稲山 雅治：江口さん卓話楽しみにしています。  
 齊藤 昌宏：江口さん卓話楽しみにしています。  
 浅野 正幸：江口さんの話 楽しみにしています。  
 鈴木 利雄：12月21日（木）クリスマス家族会よろしくお祈いします。  
 市原 正男：ニューリバーロードレースおつかれさまでした。江口会員卓話よろしく！  
 朝戸 健夫：週末、カワハギ釣りに行ってきます。江口会員卓話よろしくお祈いします。  
 三井 啓久：江口さん卓話よろしくお祈いします。

◆2017年12月のロータリーレート=112円

近隣クラブ例会日

例会場

火曜日 四街道R.C (四街道ゴルフクラブ)  
 火曜日 八千代中央R.C (ウィシュトンホテル・ユーカリ)  
 水曜日 習志野R.C (習志野商工会議所会館)  
 水曜日 佐倉中央R.C (ウィシュトンホテル・ユーカリ)  
 木曜日 佐倉R.C (フランス料理・シェ・ムラ)  
 木曜日 習志野中央R.C (習志野商工会議所会館)

例会出席率 ※欠席の時は必ず前日までに出席委員長に連絡して下さい。

	会員総数	出席対象者	出席	%
12/15	51	48	44	91.7

■出席委員長 江口 茂勇

携帯:090-3133-0839 TEL:047-487-1085  
 FAX:047-485-5567

■例会日 金曜日 12:30 ~ 13:30

■例会場 パッソノヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ1F FAX:047-450-0050)

たき火

作詞 巽 聖歌 作曲 渡邊 茂

垣根の 垣根の まがりかど  
 たき火だ たき火だ おちばたき  
 あたろうか あたろうよ  
 北風 ピイプウ 吹いている

昭和16年12月に発表されNHK「幼児の時間」で2回放送されましたが戦争の為すぐに中止。しかし戦後再び放送、教科書に採用され全国に広まりました。

■クラブ会報委員会

委員長:大中 宏道 副委員長:安宅 照男

TEL:047-459-5806